

## 世界37ヶ国の空港、ホテル等に導入実績 コスト削減と環境配慮両立のエコトイレ

「臭わない、手入れが簡単、環境に優しい、そしてコストが削減できる」という夢のような男性用小便器が話題を呼んでいる。便器の形状など4種類の特許に支えられた未来型のエコトイレ。上下水道の使用料を大幅に削減し、電気も使用しない。従来の無水トイレと違い化学薬品も不要だ。



便器上部は広告スペースとして活用可能。POPの掲出にも最適な場所だ。



排水口は未使用時密閉されている為、悪臭が逆流してこない。



店舗での設置例。飛沫の飛散を防ぐ独自の形状により清潔に利用できる。



昨年12月1日にURIMATを導入した「Amija-Amigo」(東京都昭島市)。

### (株)東京N.S.Y

男性用無水小便器

## URIMAT (ウリマツト)

◆お問い合わせ先

〒173-0004 東京都板橋区板橋2-20-5 2F

TEL 03-3961-0607

FAX 03-6411-5887

www.tokyo-nsy.co.jp

「用を足したら水で流す」という従来の常識を覆す無水型の男性用小便器はスイスのメーカーが開発した「URIMAT」シリーズ。特筆されるのは、水を使わずに従来の便器より悪臭が抑えられ、清潔さがよりアピールされている点だ。このマジックを実現するためのからくりは4つ。

まず1つめに、特許も取得している飛沫の飛散しない便器の形状。続いて2つめに陶器の約150倍という表面密度を誇るポリカーボネート製の本体だ。この本体は強い強度を持つとともに表面からの尿の浸潤、残留を防ぎ、アンモニア臭の発生を防ぐ。

3つめに浮力の原理を採用した排水部のサイフォン。従来の無水便器では化学薬品(密封液)で臭いを防いでいたが、URIMATではサイフォン内部の尿が浮力でブイを押し上げ排水口を密閉するという、物理的な原理で臭いの逆流をシャットアウト。化学薬品を使用する無水便器では水の侵入が御法度だったが、物理的方法を採ることににより清掃時にも水を気にせずすみメンテナンスがより簡単になった。

4つめに天然の有用微生物を活用した専用クリーナー。このクリーナーにより悪臭、尿石の元をバクテリアで分解し、臭いを未然に防ぐ。メンテナンスは日々のクリーナー投入、及びサイフォンの交換だけでOKだ。

上下水道の使用抑制により1年間で約1.5トンのCO<sub>2</sub>削減を試算(一器あたりのカタログ試算値)。コスト面でも500回の使用で約3万円の低減(上下水道の使用料とサイフォンコストの比較)を見込む。

(株)東京N.S.YではURIMATを遊技場向けに販売、取り付け工事も請け負う。一部のケースを除き閉店後の工事で翌日営業開始までに設置可能。